



石狩地域森林ふれあい推進センター

石狩地域森林ふれあい推進センターは、豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた山岳林等にある定山溪国有林と都市近郊の丘陵森林である野幌国有林をフィールドとして、各種活動を行っています。今回は、昨年度実施したイベントのうち、いくつかを紹介します。

【森林教室】

定山溪小学校と定山溪中学校の合同で、年5回の森林教室及びその森林教室での成果を発表する「森づくり発表会」を開催しました。

1回目は、定山溪三笠緑地で植生の開花調査を行いました。2回目は、カミネッコンを用いてポット苗の作製と植樹などをしました。4回目は、エゾシカ食害防止保護管による天然生若木の保護と野鳥の巣箱設置等を行いました。

また、森林教室での成果については、12月の「森づくり発表会」において、父兄や地元の方々に向けて発表しました。



第2回カミネッコンを用いてポット苗を作成

【野幌森林づくり塾】

平成16年の台風被害にあった野幌森林公園の自然再生プロジェクトの一環として、市民の皆さんが森林づくりを体験しながら、森林づくりに関する知識を取得し、森林との関わりなどについて学んでいくもので、接ぎ木体験、外来種の駆除、風倒被害跡地への植樹を実施しました。



風倒被害跡地への植樹

【札幌水源の森づくり】

平成16年度から行っているこの取組は、街の中で一人1本苗木づくり、次代へ引き継ごう「水源の森」として、市民に水と森林の関わりを普及啓発するため、市民による苗木づくり、協力団体による定山溪の国有林への植樹、下刈りを行っています。開催場所である創成川公園において市民約200名に苗木を作成していただき、国有林へ無事に植樹することができました。



市民による苗木づくり

【終わりに】

当センターでは、今後も小・中学生や市民の皆さんと一緒に楽しみながら、森林教育・森林再生等に取り組んでいきたいと考えています。